



OSAKA JAPAN

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@hke.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:八橋 忠夫 幹事:木元 良三 会報委員長:飛田 昭男

◇ 2009年6月2日 第908回例会(第907号) ◇

◎ 本日の例会 ◎

今週の歌 「君が代・四つのテスト」

卓 話 「次年度会長方針発表」

渡 辺 忠 雄 次年度会長

◎ 次回例会のお知らせ(6月9日) ◎

卓 話 「今年度事業報告」

内 田 正 クラブ運営委員長

渡 邊 眞 奉仕活動委員長

田 中 茂 晴 広 報 委 員 長

前回〔5月26日〕例会記録

来 客

川 西 靖 裕 君

(R I 第2660地区第2組ガバナー補佐)

大 森 保 子 君

(R I 第2660地区第2組ガバナー補佐エレクト)

北 田 他 実 夫 君

(R I 第2660地区第2組ガバナー補佐ノミニー)

会長の時間

八 橋 会 長

今日は次年度のための第1回クラブ協議会が予定されています。

今期も後1ヶ月を残すに至りました。本来ならばゆっくり出来る時期と考えていましたが、しかし次年度は当クラブ、吹田江坂ロータリークラブの20周年を迎えます。それに向けいろんな準備、いろんな用意が成されているわけですが、しかしながら残念なことに今期最大テーマでもある、20周年に向けての会員増強が思うように実行されていません。会長の指導力不足、準備不足等これが最大の原因でもあ

出席報告

山 崎 委 員 長

【5月26日】

在籍会員 41名 (内出席規定適用免除者 8名)

出席会員 34名 (内出席規定適用免除者 6名)

ホームクラブ出席率 87.18%

4月21日のMUを含む出席率 87.18%

り、不徳のいたすところではあります。しかしながら今後は吹田江坂ロータリークラブの現状をよく把握され各々の会員が、各々の自覚のもと、どれだけの危機感を持てるかが問題と思います。自分のポジション、状況等で紹介活動の難しい会員もいらっしゃると思います。しかしそれを総じて、甘んじて受けていると大変な事態に陥ると思います。出来る方が出来る時に、長期、短期と常に純増を考えながら会員増強活動をしていただきたいと思います。ご紹介方々お願いいたします。

幹事報告

木 元 幹 事

◎5月30日(土)の、青少年奉仕正副委員長会議及びライラワークショップは中止となりました。

ニコニコ箱

芳 賀 会 員 欠席すみません。シカゴから無事帰国できました。

北 村 会 員 タンジョウビワイアリガトウ。

寺 井 会 員 前回欠席のお詫び。

内 田 会 員 連続欠席のお詫び。

本日分 28,000円

累 計 1,272,140円

奉仕活動委員会

金 馬 副委員長

(青少年担当)

今年もニコニコキャンプが行われます。ロータリアンのお孫様、お子様、その友人を募集しています。

場所:大阪府立青少年海洋センター

日時:7月31日~8月2日

次年度クラブ協議会

「今年度の総括」

川西靖裕 ガバナー補佐



平素は地区に対しご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

各クラブ今の時期、今年度の大きな事業も終え、今年度の総括と次年度への取組と交錯してクラブで一番大事な時期であると思われま

す。私も第2組担当のガバナー補佐として、今日迄各クラブにクラブ協議会を初め2～3回（補佐エレクトも含め）訪問させて頂き、今まで経験した事が無い、広く深く「ロータリー」を勉強する機会を与えて頂いた事に感謝致します。

さて、各クラブに共通する課題は大きく分けて、①会員増強の件、②CLP導入の件になるかと思われま

す。会員数はここ数年間に於いて約2割程度減少して来ましたが、今年度に入り若干ながら増加、下げ止まり感もします。

これからは、各クラブに於いてピーク時の会員数を前提とする事なく各クラブに於いて適正な（財政力、活動力を含め）会員数を設定する事を真剣に議論する必要が有ると思われま

す。CLPに於いては現在迄2組では、導入クラブと未導入クラブとが約半々で有り、未導入クラブでは近々ほとんどのクラブで導入出来る体制が出来ると思われま

す。導入クラブもまだまだ取り組んで1～2年しかたらず、多くのクラブは未だ形式論（組織の簡素化）が中心で、自分達のクラブをどんなクラブに（組織の活性化）したいかの議論が遅れているような気がしま

す。各クラブを数回訪問させて頂いて大きく感じたことは、各クラブが自分達のクラブの歴史と伝統を大事にされロータリー活動をされて来た事に敬意を表します。今後はその力を少しでも大きくする為、今後各クラブ間に於いて合同事業・合同例会等開催される事を望みます。

終わりにあたり、この一年間私に寄せられたご厚情を、次年度大森ガバナー補佐にも寄せられる事をお願い申し上げ、今年度の総括とさせて頂きま

「次年度の所信」

大森保子 ガバナー補佐エレクト



第2組、川西ガバナー補佐の最終クラブ訪問にお供をさせて頂きました。

2月28日の第2組のIMには多数の方々にご出席を頂き有難うございました。この件については5月のガバナー月信に報告してございますのでお読み下さい。

さて、次年度の大谷透ガバナーは、次年度活動方針の中で「ロータリーを身につけよう」と意義づけられ、各クラブが独自に、現行のロータリーの綱領に抵触しないように配慮しながら、「〇〇ロータリークラブ綱領」を作成し、第1例会に国歌やロータリーソングの斉唱に続いて唱和するようにとされています。

この件については、各クラブにおいてなるべく大谷ガバナーのご方針に沿って頂くようお願いしております。しかし、各クラブでは、このクラブ綱領の作成についてはいろいろなご意見が出てくることと思います。私も東大阪みどりクラブの新訳の綱領や、第2650地区の新訳を参考に、独自の綱領を作って、二三のクラブで参考にとご覧頂きましたが、やはりいろいろなご意見が出てまいりました。

私は思いますに、いろいろ手を加えるよりは、やはり現在使っている綱領の使用が一番いいのではないかなと思うようになりました。しかし、現在の綱領の和訳は難しく、理解しがたい点が多々あり、だからこそわかりやすい新訳綱領を…ということになったのでしょうか、それではいろいろな意見が出て混乱すること必定です。

どうするかは、各クラブでお考え頂くことがいいと思いますが、一案として、現在の綱領を使用して頂くのも一考かと思

います。但し、会長さんや情報提供の担当者は、この現在の難しい綱領の言葉の解釈や、その理念について、よく会員に理解して頂くようなご努力が必要かと存じます。会長様は、例会時の会長の時間をご利用下さるのも一つの方法と存じます。よろしくお願